



© 環境省  
エコアクション21  
認証番号0006252

# 環境活動のまとめ

OSAKA PALCOOP ECO REPORT 2022

この報告書は2021年度の方針にそった  
主な環境活動についてまとめたものです





# 「子どもたち・未来のために、美しい地球のために」

子どもたちに自然環境のすばらしさを伝えていくことは、大人としての課題です。  
 未来を生きる子どもたちに美しい地球を渡せるよう、生協として地球温暖化防止の社会的責任を積極的に果たし、事業と活動をすすめていきましょう。

2022年5月

環境マネジメント推進委員会



2012

- ・「大阪市におけるレジ袋削減に関する協定」店頭イベントを開催
- ・ライトダウンキャンペーンに参加
- ・エコアクション21更新審査「適合」

ライトダウン



2013

- ・NPO法人「リアルにブルーアースおおさか」により、なおお店に太陽光発電パネル設置（出力20kW）
- ・北枚方支所に太陽光発電パネル設置（出力50kW）
- ・忍ヶ丘店で食品リサイクル（肥料化）を開始



2014

- ・寝屋川支所の太陽光発電パネル更新（出力30kWから50kWへ）
- ・店舗で透明トレイの回収開始
- ・エコアクション21更新審査「適合」

2015

- ・おおさか協同物流センターに太陽光発電パネル設置（出力655kW）
- ・大阪市内の3店舗で食品リサイクル（飼料化）を開始



2016 2017

- ・なにわエコ会議・二酸化炭素削減コンペガス使用量削減活動で「チャレンジ賞」受賞
- ・エコアクション21更新審査「適合」

2018

- ・食品リサイクル（飼料化）を7店舗に拡大
- ・店舗 畜産品の脂リサイクルを開始
- ・環境マネジメントシステム・エコアクション21更新審査「適合」

2019

- ・都島福祉センター開設 10項目の環境対応
- ・紀の川市北長田耕作放棄地再生活動を開始
- ・環境マネジメントシステム・エコアクション21中間審査「適合」

2020

- ・寝屋川福祉センター開設 9項目の環境対応
- ・星ヶ丘店で食品リサイクル（飼料化）を開始
- ・環境マネジメントシステム・エコアクション21認証継続登録10周年

2021

- ・東住吉福祉センター開設
- ・環境マネジメントシステム・エコアクション21中間審査「適合」



# 環境マネジメントシステムを活用して 事業をすすめています

## 環境方針

### 基本理念

おおさかパルコープは、持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境問題を重要な課題と位置付け、組合員とともに環境保全活動に積極的に取り組みます。

### 基本方針

おおさかパルコープは、組合員を対象とした食品など生活関連の商品供給事業及び共済、福祉事業や旅行、チケット、暮らし関連などのサービス事業を行っています。こうした事業活動から発生する環境に大きな影響を及ぼす項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で環境目標、環境活動計画を定めて取り組み、環境負荷の軽減と汚染の予防、生物多様性の保全への配慮、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

1. 環境に配慮した商品やサービスの取扱いと普及をすすめます。
2. 地球温暖化防止のために、CO<sub>2</sub> 排出量削減に取り組みます。
  - ・積極的に省エネルギー機器導入に取り組みます。
  - ・電気、ガスの使用量削減に取り組みます。
  - ・配送効率や運転技術の向上、エコドライブの推進で車両燃料の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の削減、リサイクルに取り組みます。
  - ・紙などの資源を効率的に使用し、使用量削減とリサイクルに取り組みます。
  - ・店舗では食品廃棄ロス基準を守り廃棄物の再生利用等に取り組みます。
  - ・組合員とともに、容器包装、商品案内チラシなどの回収リサイクルや、買い物袋持参に取り組みます。
4. 資源の有効活用、節水に取り組みます。
5. 商品検査室で検査に使用する化学物質の使用量確認を行い、適正管理を推進します。
6. 環境関連の法令、条例及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。
7. 組合員による環境活動を積極的に支援し、持続的発展を可能とする循環型社会構築に向けた社会的活動に広範に取り組みます。
8. 以上の活動を進めるために、職員に対する環境教育と環境コミュニケーションを積極的にすすめます。

この環境方針はおおさかパルコープの内外に公開するとともに、環境活動の取り組みの状況について定期的に公表します。

2001年7月21日制定  
2021年6月8日改定  
生活協同組合おおさかパルコープ

理事長 奥井 和久

事業活動にともなう環境負荷を最小限にとどめることに継続的にとりくむために、環境省が定めた環境マネジメントシステム「エコアクション 21」を活用しています。



毎年、資格を持った外部審査人の審査を受けます。2021年度も2022年3月16日から3日間、各事業所の審査を受けました。環境へのとりくみが評価され「**適合**」の結果でした。



環境省  
エコアクション21  
認証番号0006252

# 2021年度 主な環境目標の実績と評価



事業所や部署ごとに、2021年度は21項目の目標を持ちました。  
20項目は目標を達成したり、実施することができましたが、1項目は目標を達成することはできませんでした。毎年目標の見直しを行いながらとりくみを継続します。

## 活動と評価

### 電気使用量



前年対比  
**94.8%**



忍ヶ丘店のリニューアルによる冷凍冷蔵庫の入れ替えや、支所のエアコン・冷凍冷蔵庫の入れ替えによる最新機器の導入により削減しています。

### ガス使用量



前年対比  
**103.2%**

福祉デイサービスの利用者が増えた事により増加しています。

### 水道使用量

ここから  
ミストが出ます



前年対比  
**98.5%**



支所職員の熱中症対策で支所に設置したミスト発生装置の管理をつよめたため、削減しています。

### ハート栽培 農産物の 取り扱い



103品目の認証と  
147件の  
お届け前検査

ハート栽培農産物の実態把握を産地点検・農薬検査などで実施しています。環境に優しい農業生産の推進は、産地の環境保全にもつながるとりくみです。

### 食品ロス削減のとりくみ

1. 野菜くずや消費・賞味期限の切れた食品
2. 調理に使った食用油
3. 魚のアラ
4. 畜産品の脂



約**313**トン

全店で食品ロス削減のとりくみをすすめています。

### 車両燃料使用量の削減



燃料使用量前年対比  
**101.6%**

車両台数前年対比  
**109%**

前年対比で、車両保有台数は109%と増えていますが、車両燃料使用料は101.6%とおさえられています。

エコドライブの実施  
エコドライブセルフチェックを実施

#### エコドライブ

車両燃料やCO<sub>2</sub>等の排気ガスの排出削減ができます。

制限速度を守り、急発進、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない。駐車時はアイドリングストップなど環境に配慮した運転をする。等



安全運転

年間で1回、自らの運転状況を見直し、安全運転に努めるためにセルフチェックを実施しています。車両燃料使用量削減のために「シートベルトを締めてからエンジンスタート」も合言葉です。



# 地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub>排出量削減の とりくみをすすめています

2021年度のCO<sub>2</sub>排出量は12,014トンになりました。  
また、前年対比で96.8%となり、総量で減少しました。  
原単位<sup>\*</sup>では19.0トンから19.4トンとなりました。

<sup>\*</sup>原単位：CO<sub>2</sub>排出量を供給金額で割り算して、  
CO<sub>2</sub>排出量を算出し、削減にとりくむ方式です。

毎年、設備改善と運用管理の強化でCO<sub>2</sub>排出量の削減にとりくんでいます。多くのCO<sub>2</sub>を排出する事業者の社会的責任として、これからも削減のとりくみを積極的にすすめていきます。

日本生活協同組合連合会ではCO<sub>2</sub>排出量の総量削減をすすめるために、全国の生協と協力して「温室効果ガス総量削減計画」をすすめています。「2030年度に、生協全体のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度対比で40%削減」を目標としています。

全国生協のCO<sub>2</sub>排出総量削減目標

2030年度に2013年度比で**40%削減**

2021年度  
パルコープの  
CO<sub>2</sub>排出総量  
**12,014  
トン**

## CO<sub>2</sub>排出量の抑制 経年の推移と評価

電気使用CO<sub>2</sub>排出係数：0.423kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(日本生協連、全国統一CO<sub>2</sub>排出係数)



## 太陽光発電設備について



再生可能エネルギーはCO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減し、日本のエネルギー自給率を上げることにつながります。現在、パルコープでは(株)おおさか協同物流センター(655kW)を含めて785kWの太陽光発電が稼動しています。年間発電量は合計822,616kWhになり、CO<sub>2</sub>の排出量で290トンの削減につながっています。

CO<sub>2</sub>排出量の削減効果  
**290  
トン分**

年間発電量  
**822,616  
kWh**

設備	太陽光発電	容量
	北枚方支所	50kW
	寝屋川支所	50kW
	港支所	30kW
	(物流センター)	655kW)



(電気使用CO<sub>2</sub>排出係数：0.352kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

# 全事業所で省エネにとりくんでいます



## ●共同購入(班配・個配)事業

事業活動にともない排出される容器包装(たまごパックや牛乳パック・商品お届け袋)、商品カタログなどのリサイクルにとりくんでいます。

2021年4月度～2022年3月度までで約4,256トンの回収、再資源化につながりました。



商品カタログ  
回収量  
**4,256  
トン**



配送時に組合員さんから回収した商品カタログ(左)と商品お届け袋(右)



商品カタログは古紙原料としてリサイクルされています。

## インターネット注文のeフレンズ登録を進める事でペーパーレスを推進します



生活協同組合おまかせグループ  
eフレンズに登録しませんか?  
**インターネット注文のeフレンズ**  
ポイントプレゼントキャンペーン実施中!

使ったよかったのポイントをたくさんいただいています!

- 注文履歴を簡単に確認できる。注文履歴がなくても大丈夫です。
- 注文履歴を簡単に確認できる。注文履歴がなくても大丈夫です。
- 注文履歴を簡単に確認できる。注文履歴がなくても大丈夫です。

**eフレンズ**はこんなに便利!

- 配送翌日の25時(深夜1時)まで注文受付できます!
- スキマ時間にスマホがあればポチッと注文OK

登録はこちら  
QRコード  
https://www.palcoop.or.jp/ef/

紙の削減でエコに協力!  
ポイントプレゼントキャンペーン実施中!  
3月30までに注文書の「配布停止したい」を登録すると  
**20ポイント**プレゼント!!

すでにeフレンズをご登録の方で  
今回配布停止の方も  
ポイントプレゼントします!  
※紙の配布停止は3月30日までに登録してください

1! eフレンズを登録していない場合、注文書の停止はできません。  
※3月30日登録時点で停止の旨は3月4日以降の印刷物にてお知らせいたします

注文書配布停止の登録方法は画面をご覧ください

「インターネット注文をしているので注文用紙はいらない」などの声を受けて、お届けを停止できる商品カタログの種類を増やし、組合員さん自身で注文書のお届けも停止できるようにしています。

2022年3月  
eフレンズ登録人数 **155,869**名

eフレンズを登録されている方のうち、  
46,655名が注文書のお届けを  
停止されています。

## ●店舗事業

お店では販売数の管理徹底など廃棄物を出さない工夫をし、残った食品は有効利用する食品ロス削減のとりくみをすすめています。



食品  
リサイクル  
約 **141**  
トン

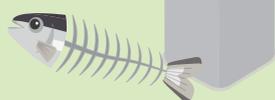
1、食品リサイクル  
(野菜くずや  
消費・賞味期限の  
切れた商品)



2、調理に使った食用油



3、魚のアラ



4、畜産品の脂

食用油は車両燃料に、魚のアラ・畜産品の脂・野菜くずなどは飼料原料や油脂として再利用されます。

食品リサイクルは 2021 年 4 月～ 2022 年 3 月までで、約 141 トンがリサイクルされました。

店舗のとりくみとして、午前中に調理する商品を来店状況に応じて準備をし、夕方に向けても調理したての商品を提供することで、廃棄する量が減少しました。

## マイバッグのとりくみ



店舗でのマイバッグ持参率  
**90.4%** (2022年3月時点)  
昨年より約 **1%** 上昇しました!

マイバッグ  
持参率  
**90.4%**

2022 年 3 月時点でマイバッグの持参率は 90.4% となりました。レジ袋は約 526 万枚削減されていることとなります。

毎年多くの組合員さんを迎える中、マイバッグ持参運動を地道に続けることが高い持参率の維持につながっています。

2020 年 7 月 1 日からレジ袋が有料化され、環境省での調査では 2020 年 3 月時点でレジ袋を使わなかった人が 30.4% だったのが、2021 年 7 月には 70% になりました。パルコプの店舗では、現在 90.4% の方がレジ袋を使わず、マイバッグ持参にとりこんでいただいています。

2021 年 3 月より、レジ袋をバイオマス\* 25% 使用の袋へ変更し、再生利用可能な有機物の構成を高めています。なお、マイバッグ持参をすすめるために、有料 (1枚5円) での提供は継続しています。組合員のみなさんには、引き続きご協力をお願いします。

\*バイオマス: 動植物から生まれた再利用可能な有機性 (石油などの化学燃料を除く) の資源のことです。

3Rで資源の有効活用を  
すすめています



リデュース  
**Reduce**

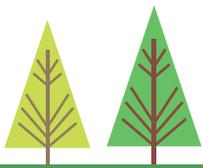


リユース  
**Reuse**

リサイクル  
**Recycle**

今後も包装資材の代替えや不必要なものの廃止、分別とリサイクル、消費者の意識と社会システムの整備に向けてとりくみを続けます。





# 1日エコライフにとりくみました



今回参加人数  
**3,771名**  
(組合員+職員)  
CO<sub>2</sub>削減量  
約**1,702kg**

## 『コープみんなでエコ! 2021』のとりくみ結果

私たちの暮らしの中から二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) をなるべく出さないことが、地球温暖化防止につながります。エアコンの温度管理や買い物袋の持参、ゴミの分別やリサイクル、車は使わず徒歩での外出など、毎日の暮らしの中で環境を守るとりくみにつながることはたくさんあります。組合員さんには毎年、OCR アンケートなどを通じて、身近にできることにチャレンジしていただいています。

1日エコライフには職員も一緒にとりくみ、合計で3,771名が参加、CO<sub>2</sub> 排出量で約 1,702kgの削減につながりました。



○ ばるタイム  
OCR  
アンケート

## 参加いただいた方からの声や工夫されたことを紹介します

家族でできる、  
今日からできる、そんな対策を  
組合員みんなで意識して  
いきたいですね。



1万人も1人から!  
一人ひとりの心掛けが  
大切だと思います。  
毎日の生活での工夫によって、  
消費する事が変化していかされて  
豊かになると思います。

1日エコライフを通して、  
我が家が意識せず、  
エコライフしている事に気づき、  
自画自賛しています。

冬も暖房なしで、  
車に頼らず、  
お風呂も続けて入り...と、  
これからも努めています。

## 地域や行政と協力し、様々なイベントに参加・協力しました

※新型コロナウイルスへの対応で多くのとりくみが中止されました。

### ライトダウンキャンペーン

環境省では 2003 年より地球温暖化対策のため、ライトアップ施設や家庭の照明の消灯を呼びかける「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」を実施しています。

パルコープでも家庭や職場において、周りの電気を消す事で、地球環境の大切さを再確認し、地球温暖化対策について考える契機として、夏至の6月21日と7月7日に各店舗で午後6時から午後9時で店内の一部の消灯を行いました。



忍ヶ丘店



東都島店



ながお店

## 打ち水大作戦

2021年度も枚方市では地球温暖化対策協議会からの要請を受け、2021年8月2日に枚方市の全店で「打ち水大作戦」にとりくみました。来店いただいた組合員さんより「涼しくなっている」「風流やね」などの声をいただきました。 ※コロナ禍のため、職員のみで行いました。



ながお店



星ヶ丘店



枚方公園店

## 家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ

全大阪消費者団体連絡会などが呼びかけてとりくまれた「家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ」にパルコプから70名の組合員さんが参加されました。

参加の組合員さんからは「ゴミの大部分はプラごみと改めて認識しました」「多く使っているラップはシリコンふたや、ふた付の容器で減らせると思いました」などの感想をいただきました。軽くて丈夫で衛生的など、良い点もあるプラスチックですが、燃やせばCO<sub>2</sub>を出すなど環境への影響を知るきっかけとなりました。



## 省エネチャレンジノート

地球温暖化防止に身近なところからとりくむ特定非営利活動法人地球環境市民会議(CASA)発行の「省エネチャレンジノート〈2021年夏〉」には、2か月版に16名、1週間版に14名、こども版に2名が参加されました。

参加の組合員さんからは「子どもたちと今回の結果を見て、省エネについて話し合って改善していきます」「日々の小さなチャレンジが実を結ぶことを実感できる良いとりくみですね」などの声が寄せられました。



※写真は「省エネチャレンジノート〈2022年冬〉」の冊子です。

# OSAKA PALCOOP ECO REPORT 2022

リアルに協同発電しよ・ながお  
NPO法人 リアルにブルーアースおおさか

みんなの力で  
作りしました

一般家庭の年間消費電力の  
約6軒分を発電しています

太陽光発電所  
只今の発電電力  
152 kW

のべ270名の協力による  
市民共同発電所です

2014年1月29日 売電スタート

(電気使用のCO<sub>2</sub>排出係数 0.352kg - CO<sub>2</sub>/kWh)

リアルにブルーアース  
おおさか  
Since 2011

リアルにブルーアース  
おおさか

ながお店屋根 太陽光発電設備

「リアルにブルーアースおおさか」の  
アースちゃん

パルコプの組合員さんの中から「自分たちで共同発電所を作ろう」と立ち上がったNPO法人「リアルにブルーアースおおさか」。2014年1月に、ながお店の屋根に設置された20kWの太陽光発電設備は1年間の発電量が20,934kWhとなり、これは一般家庭が1年間に使用するとされている電力量(約3,600kWh)で換算すると6軒分に相当します。火力発電で発電した場合と比べて7,369kgのCO<sub>2</sub>排出を削減できました。

## おおさかパルコプ 概要

2022年3月20日現在

名称	生活協同組合おおさかパルコプ	共同購入支所数	13カ所
設立	1991年3月2日	店舗数	9店舗
職員数	フル職員1,062人、属託職員80人、パート職員1,829人	組合員会館	4カ所
供給高	620億円	組合員集会室	14カ所
組合員数	45.1万人		

 生活協同組合 おおさかパルコプ

大阪市都島区東野田町 1-5-26  
<https://www.palcoop.or.jp/>

2022年5月発行